



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.24

平成24年
8月15日号

「ふれあい社会福祉講座」



大盛況でした!

本年度のふれあい社会福祉講座は、「ボランティア」「健康づくり」「安全安心な地域づくり」をテーマとして3講座開催し、延べ297名の方が熱心に聴講されました。

本協議会は市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の構築を目指し、様々な事業に取り組んでいます。

● おもな内容 ●

- 会長就任あいさつ／役員・評議員の改選… 2
- 決算報告・事業報告…………… 3
- 各地区ふれあいだより…………… 4
- センターまつり・避難者支援の取り組み
ふれあいいいききサロン紹介…………… 5
- よらんしょネット…………… 6
- リフレッシュ事業のご案内…………… 7
- 九州北部豪雨災害支援・ボランティア指定校
児童館まつり…………… 8

会長就任挨拶



社会福祉法人

喜多方市社会福祉協議会長

武藤 顕夫

皆様方には、日頃から喜多方市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただいていることに対し、厚く御礼を申し上げます。

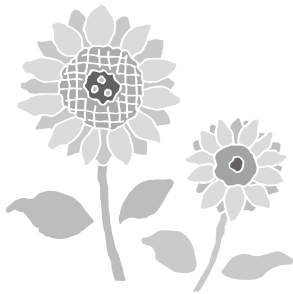
さて、私こと、七月二日の理事会におきまして、喜多方市社会福祉協議会の会長に再度選任を頂きました。平成十八年七月に就任以来、社協の合併に伴う諸課題の解決に取り組むとともに、組織基盤の確立と地域に根ざした福祉事業の展開を図ってきたところであります。

今後につきましても、少子高齢化が急速に進行している喜多方市の現状への対応とともに、昨年発生した

東日本大震災を教訓として、社協としての災害時の円滑な対応を図るためのマニュアルづくりと、高齢過疎化の進行により深刻化している除雪のためのボランティア組織づくり等を検討することとしております。

更には、高齢者等要援護者の方々の不安軽減のため、生活支援マップの作成をはじめとして、地域福祉・在宅福祉の向上に微力ではありますが誠心誠意尽くして参る考えであります。

最後になりましたが、喜多方市社会福祉協議会の事業推進に対し、これまで以上に市民皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会 役員・評議員改選

役員及び評議員の皆様は、行政区長さんや民生児童委員さん、各種福祉団体等から選出され、市民の皆様のご代表として社会福祉事業の効率的な運営と組織的活動を促進し、地域における民間社会福祉の増進を図ることを目的とした社会福祉協議会の運営及び議決にあたります。

なお、今改選より県内で最も多かった役員及び評議員の定数を見直すとともに、選出区分についても見直しを図りました。

◎理事		◎監事		◎評議員	
会長	武藤 顕夫	広瀬 雅彦	山崎 信子	猪俣 孝司	岩淵 智子
副会長	手代木 洋次	矢部 政人	星 陽子	今井 輝雄	入澤 貴子
常务理事	高野 良毅		古木 俊一	武藤 啓子	湯田 功子
理事	荒海 良市		坂内 孝夫	山口 充	渡部 恵子
	五十嵐 智		高澤 嶽	林 健一郎	
	五十嵐 三重子		齋藤 勇	花見 紀子	
	岩下 義一		風間 常義	成田 辰平	
	岩本 義昭		須藤 茂樹	夏井 隆一	
	佐原 和佳子		鈴木 孝一	夏井 永光	
	佐藤 一男		鈴木 秀一	長井 仁	
	酒井 文雄		鈴木 茂雄	手代木 隆夫	
	神山 恵美子		鈴木 孝一	棚木 ミツイ	
	加藤 政和		鈴木 孝一	田代 喜代志	
	大竹 紀歳		須藤 茂樹	田代 孝志	
	瓜生 敏男		須藤 茂樹	田代 孝志	

任期平成24年6月16日から
平成26年6月15日まで
(五十音順)

平成23年度決算報告・事業報告

貸借対照表

平成24年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	179,079,869	流動負債	52,713,088
現金預金	100,500,249	未払金	49,192,292
未収金	74,032,590	預り金	3,520,796
立替金	177,557	固定負債	373,048,229
前払金	92,400	退職給与引当金	373,048,229
短期貸付金	4,273,713	負債の部合計	425,761,317
仮払金	3,360	純資産の部	
固定資産	629,130,395	基本金	5,000,000
基本財産	5,000,000	基本金	5,000,000
基本財産特定預金	5,000,000	基金	36,119,200
その他の固定資産	624,130,395	社会福祉基金	20,009,200
建物	9,685,025	生活援助基金	2,110,000
構築物	1,534,738	高額療養費・援助資金貸付基金	14,000,000
車両運搬具	11,251,757	国庫補助金等特別積立金	9,023,068
器具及び備品	6,666,166	国庫補助金等特別積立金	9,023,068
退職共済預け金	304,869,149	積立金	253,933,360
特定預金	290,052,560	積立金	253,933,360
リサイクル預託金	71,000	次期繰越活動収支差額	78,373,319
資産の部合計	808,210,264	(うち当期活動収支差額)	27,740,451
		純資産の部合計	382,448,947
		負債及び純資産の部合計	808,210,264

平成23年度事業活動収支計算書

(単位:円)

	収入額	支出額	差異
事業活動収支の部	738,668,504	717,527,284	21,141,220
事業外活動収支の部	834,488	0	834,488
特別収支の部	6,176,749	412,006	5,764,743
合計	745,679,741	717,939,290	27,740,451

(当期活動収支差額)

<収支内訳>

(単位:円)

収		入
会費収入		9,502,400
寄付金収入		15,012,063
補助金収入		65,844,000
受託金収入		221,004,034
負担金収入		635,000
自立支援費収入		8,786,660
共同募金・歳末たすけあい収入		9,538,026
介護保険収入		351,240,404
利用料収入		17,940,823
その他の収入		46,176,331
合計		745,679,741

支		出
法人運営事業		139,617,788
地域福祉事業		
・ボランティア教育	・福祉団体育成支援	13,597,994
・サロン事業の推進	・社会福祉大会開催 ほか	
指定管理施設運営事業		
・総合福祉センター	・夢の森	92,733,118
・いきいきセンター	・高齢者生産活動センター	
・しゃくなげホーム	・かたくり荘	
児童館運営受託事業		84,808,886
その他の受託事業		2,474,049
歳末たすけあい配分事業		4,315,600
介護事業		
・ケアプランセンター4事業所	・ヘルパーセンター3事業所	380,391,855
・デイサービスセンター5事業所	・訪問入浴1事業所	
・地域包括支援センター		
合計		717,939,290

【主な事業】

ふれあいいきいきサロンの推進

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくための「サロン」を開設いたしました。
平成23年度新規開設 2ヶ所
合計 15ヶ所

ボランティア事業の推進

- ボランティア協力校の指定
市教育委員会・各小中学校の協力を得て、心豊かな児童生徒を育成するためのボランティア協力校の指定を行いました。
・市内小・中学校全校指定(24校)
- 福祉教育への協力
市内小・中・高校で行われた福祉教育のために職員を講師として派遣しました。
高齢者疑似体験 1回
福祉講話 1回
福祉実習 8回
訪問介護員養成研修 30回
- ショートボランティアスクールの実施
- 「声の広報」の編集・発行
- 点訳ボランティアの育成

おもちゃ図書館の運営

子どもたちが、おもちゃや本をとおして人間性豊かに成長するよう支援するとともに、保護者に交流の場を提供しました。

- 本所(喜多方) 67日 3,864名利用
- 熱塩加納支所 12日 155名利用
- 塩川支所 58日 1,619名利用
- 山都支所 16日 246名利用
- 高郷支所 23日 294名利用

心配ごと相談所の開設

市民のみなさんの日常の心配ごと、困りごとの相談に対応し、安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。
平成23年度相談件数 102件

東日本大震災及び新潟・福島豪雨災害への対応

東日本大震災及び新潟・福島豪雨災害の際には、市内の福祉団体等の皆様のご協力をいただき、災害の復旧・復興にむけた活動を展開しました。

- 災害ボランティアセンターの設置
- 災害義援金・救援物資の受付
- 被災地ボランティアセンターへの職員派遣
- 要介護避難者への入浴サービス提供
- 温泉保養施設の入場料の減免措置
- ボランティアバスへの協力



喜多方地区 血液不足解消のため、がんばりました。

喜多方市赤十字奉仕団では、毎年『愛の助け合い運動』街頭献血キャンペーンに協力しています。今年は7月12日、喜多方市保健センターや市内のスーパーなどで実施しました。昨年の東日本大震災以来、福島県内では血液が不足し、特に夏場は更に厳しい状況になることから、団員自ら献血に協力したり、風船やポケットティッシュなどの啓発資材を配りながら、市民へ協力を呼び掛けました。若年層の献血離れが心配される中、150単位の目標に対し、202単位の協力を頂きました。



7月の風物詩 七夕飾り 夢の森デイサービス 熱塩加納地区

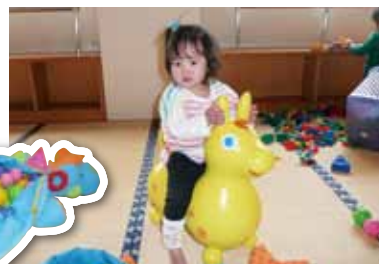


天まで届く七夕飾りを一生懸命つくりました。
「願いごと叶うといいね!」と出来ばえを見あげながらのお帰りの風景です。
皆さん心を込めて作ったんだもの願いごとは必ず叶いますヨ!
温泉に来られる方からも好評で足をとめて作品を観てくれてました。

塩川地区 《塩川支所おもちゃ図書館》新しいおもちゃが増え、大好評です!!

毎週金曜日に「塩川保健福祉センター」で開催されている自由遊び(おもちゃ図書館)では4月より新しいおもちゃが入り子ども達は大喜び。
可愛い声や元気な声は更に大きくなり、楽しい子ども達の遊び場となっています。

開催日 毎週金曜日 午前10時～11時30分
開催場所 塩川保健福祉センター
(いきいきセンター)「検診ホール」



継続は力なり ～山都町民謡協会ボランティア～ 山都地区



山都町民謡協会さんは、民踊、民舞の好きな地元山都町の方々に構成されており、時には近隣町村のグループと協力しながら、山都デイサービスセンターをはじめ各地の福祉施設を訪問し精力的に活動を続けています。
山都デイサービスセンターへは年間3回ほど訪れ、歌や踊りだけではなく自分たちで太鼓や三味線・笛を演奏するなど、多彩な演目で利用者の皆さんを楽しませていただきます。この訪問活動も今年の6月21日でめでたく100回目を達成されました。
継続は力。これからも利用者の皆さんに笑顔と元気を贈り続けてください。

高郷地区 高郷地区あじさい交流会

6月に開催された集合昼食会は、高郷町赤十字奉仕団が中心となって、参加を希望された一人暮らし高齢者の皆さまと一同に会し、「あじさい交流会」と名付けて開催されました。

みんなで楽しいものをと計画し、ボランティアなつメロ会「はとぼっぼ」の皆さんの協力を得て、すばらしい歌や踊りのほか、お話のやりとりが楽しい手品など笑いにあふれた「あじさい交流会」となりました。



東日本大震災の復興に向けて

昨年の東日本大震災関連で喜多方市に避難をされている大熊町の皆様67世帯に対し、大熊町社会福祉協議会と連携し見守り訪問活動と7月1日(日)に開催された「喜多方市の集い」に対し協力を行いました。

見守り訪問活動では、不慣れた土地で生活をされていることから、大熊町社協職員や民生委員さんと同行し社協事業の周知や情報提供をさせていただきました。

「喜多方市の集い」では、喜多方市にお住まいの大熊町の方7名が参加され、大熊町の民生委員さんも同席された中で、久しぶりに同郷の方と会ったという方もおり、話の尽きない楽しいひと時を過ごしていただきました。

これからも大熊町社協と連携を図りながら、支援活動に協力してまいります。



第28回 センターまつり 開催される

～喜多方市高齢者生産活動センター～

6月10日(日)喜多方市長をはじめ、大勢の来賓の方々をお招きして盛大にセンターまつりを開催しました。曇り空でしたが、過ごしやすい気候に恵まれて市民の方々や、遠くは横浜からなど350人程が来場されました。

その中には、インターネットでの情報や、会員から誘われて来場された方も沢山いらっしゃいました。

展示コーナーには丹精込めて作り上げた作品が、グループごとに所狭しと並び、沢山の来場者に喜んでいただけたものと思います。

また、販売ブースや出店も例年並みの売り上げがありました。

アトラクションやスタンプラリーによるプレゼント・バザーコーナーも盛況でした。

アンケートにも、「活動センターの会員が生き生きして活動されているのに頭が下がります。頑張ってください。」とのメッセージがあり、会員一同、来年に向けた元気を頂いた楽しい一日でした。



ふれあい いきいきサロン



ひばりが丘いきいきサロン

昨年3月に社会福祉協議会で実施した、小地域ふれあい事業「いきいき健康茶話会」に参加された皆さんから「是非、仲間づくりの場として定期的に開催してほしい」との声があり昨年6月にいきいきサロンを設立しました。

設立から1年、区長さん、民生委員さん・ボランティアの方々の協力のもと毎月楽しく過ごしています。

地区の集会所を会場に年間計画に基づき、さまざまな事業を行なっています。参加される方にアコーディオン伴奏をされる方がおられるので、合唱や輪唱を楽しんだり、地区内の清掃活動、新年を初釜でお祝いするなど誰でも参加できる内容にしています。



“よらんしよネット”

喜多方市地域包括支援センター
TEL.0241-21-8856

～地域包括支援センターだより～

よらんしよ教室(介護予防教室)開催しています!

地域包括支援センターでは、毎年、よらんしよ教室(介護予防教室)を企画・開催しています。

今年度は各地区1回開催で健康チェック、介護予防体操、レクリエーション、茶話会を行政区長さん方のご協力のもと開催中です。7月は山都町藤巻地区、熱塩加納町宇津野・栗生沢(くりうざわ)地区、高郷町本村地区、塩川町新井田谷地地区で開催しました。9月12日には熊倉町小沼地区で開催を予定しております。地区の皆さまの参加をお待ちしております!



介護予防について

地域包括支援センターは3職種(保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー)が配置され、日々皆さまのご支援に努めております。今回は、保健師・看護師が中心となり行なっている活動についてご案内します。

①《介護予防ケアマネジメント事業》

要支援1・2の方を対象に目標を決めて、達成するための支援メニューを利用者や家族と検討し、介護予防ケアプランを作成します。

②《出前介護予防教室》

地域に出向いて、介護予防教室や健康講話を行なっています。地域のサロン、老人クラブ等よりご依頼を頂いております。また、H19年度から旧町村1か所ずつ、今年度は旧市内も含め5か所ですらんしよ教室という介護予防教室を企画・開催しています。

③《介護予防の推進》

生活機能調査により生活機能が低下しているおそれ

があると判断された方で、介護予防事業への参加を申し込まれる方の調査及び計画作成を行なっています。聞き取り調査でお伺いしますので、ご協力よろしくお願致します。

④《いきいき高齢者介護予防推進事業》

市主催の元気な高齢者のための“知っ得!?元気の秘けつ教室”の第5回「脳トレで若さの秘訣」を担当して行います。



熱中症に要注意!!

高齢者に多い熱中症

●高齢者の特徴

1. 「暑い」と感じにくくなる
2. 汗をかきにくい
3. のどの渇きを感じにくい
4. エアコンや扇風機などが苦手

●予防のポイント

1. のどの渇きがなくても水分をこまめにとる
2. 服装は通気性の良い物を選ぶ
3. 外出時は日陰を選んで歩き、帽子や日傘を使う
4. 室内に温度計を置き、室内は28℃を保つ
5. 汗をたくさんかいた時には塩分もとる

熱中症は3段階に分けられる

軽症1度

熱けいれん

足・腕・腹部の筋肉にけいれん(こむら返り)

熱失神

めまい・失神

日射病

直射日光により大量の汗をかく
→ **脱水症状**

対処法

水分、塩分補給、体を冷やす、涼しい場所に移動

中等症2度

熱疲労

- 激しい喉の渇き
- 脱力感
- めまい

- 頭痛
- 吐き気
- 気を失う

対処法

上記の対応で改善がみられなければ救急車を呼ぶ

重症3度 非常に危険な状態!!

熱射病

- 意識障害(応答がおかしい、無反応)
- 身体がひきつる
- 発汗停止
- 手足が動かない
- 手足が震える
- 気を失う

対処法

すぐに救急車を呼ぶ

119番

平成24年度 家族介護者リフレッシュ事業(一泊コース)のご案内

ご家庭で要介護者の方を介護されている市民の方を対象に、一時的に介護を離れ、話し合いの機会や研修の場を通して介護者同士の交流を持つとともに、心身ともにリフレッシュしていただき、今後の介護に役立てていただくことを目的として実施します。



一泊リフレッシュ	
日 時	10月17日(水) 11:00 ~ 18日(木) 16:00
場 所	新潟県柏崎「岬ひとひら(旧岬館)」他
負 担 金	4,000 円
お 楽 し み ポ イ ン ト	柏崎の旅館「岬ひとひら」で雄大な日本海の景色を満喫。今回は自分でできるマッサージの講習会を予定しています。鮮魚ショッピングもお楽しみに。
募集予定人員	45 名
申 込 期 間	平成24年9月7日(金) ~ 平成24年10月4日(木)

※申込期間前の申込みは受付できませんのでご了承願います。
 ※本年度の日帰りコースに参加された方(家族)は、申込みできません。
 ※1世帯1名の参加となります。

- 【対象者】 喜多方市民の方で、介護保険の要支援、要介護の認定を受けている方を在宅で常時介護している家族の方。
 ※申込者多数の場合は、締切日前でも受付を締め切ることがありますのでご了承下さい。
- 【申込み】 ①参加される方お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④担当の介護支援専門員
 ⑤介護を必要とされている方のお名前 ⑥要介護度 ⑦ご希望のコース ⑧集合場所までの送迎の有無

以上の内容を下記のいずれかに電話でお申込みください。

喜多方市社会福祉協議会 TEL.0241-23-3231 お近くの喜多方市社会福祉協議会支所でも受付いたします。

募集締め切り後、参加される方には詳しい内容をご通知いたします。

主催：喜多方市社会福祉協議会(喜多方市委託事業)

祝賀寿

このたび、塩川町の鈴木イセ様より、一〇〇歳賀寿の記念として、日頃よりご利用いただいている塩川デイサービスセンターで役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。

「イセさん 一〇〇歳 おめでとーございます。これからもお元気でデーサービスに通ってくださーい。」



一般寄付

- 喜多方地区
 - 第二十八回センターまつり実行委員会
 - 社協職員親睦会喜多方支部
 - 昭和33年度喜多方一中卒業古稀を祝う会
 - 松山町坂井 田中 詢
- 山都地区
 - 山都町民謡協会
- 高郷地区
 - 山都町千咲原 齋藤トミヨ (清拭布)

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。(順不同・敬称略)
 (平成24年5月1日~6月30日受付分)

- | 喜多方地区 | 高郷地区 | 山都地区 | 塩川地区 | 熱塩加納地区 |
|--|--|---|--|---|
| 熊倉町熊倉上
関柴町布流
関柴町関柴
岩月町中田付
塗物町
東京都荒川区
東京都練馬区
豊川町高吉一区
岩月町治里
松山町松が丘
岩月町下台
熊倉町金沢
慶徳町山崎
熊倉町小沼
関柴町西中明
熊倉町七本木
慶徳町新宮
岩月町下台
月見町
郡山市
豊川町一ノ堰二区
慶徳町新町
慶徳町舞台田
上町西
慶徳町山崎
寺町二区
塗物町
岩月町下台 | 渡部みつ子
遠藤 善治
伊藤 森夫
星 哲
山内 耕
入塚 誠
佐藤 仁美
佐藤 恵二
秋山 諭
遠藤 洋一
長谷川 治
高橋 義一
眞壁 康範
鶴川 廣幸
青山 祐一
植田 剛
大竹 利光
小檜山アサ子
齋藤 文伯
藤川 和幸
小椋秀一郎
都倉 庄悦
秋山 町子
手代木重夫
荒井 泉
渡部 良雄
後藤 良雄
渡部 義一 | 松山町北椋ガ丘 富山 繁男
上町西区 秋山 孝一
会津若松市 紀國 幸次
新仲町 宇内 久子
下町北部 杉山 貴子 | 鷲田 慶徳 矩夫
根岸 遠藤 眞
針生 渡部 一男
野辺沢 遠藤 悟
宇津野 遠藤 昌信
板ノ沢 岩橋 陽一
館の内 鈴木 謙吉
金川 田中 喬
能力 飯塚 康雄
西常世 穴澤 英一
谷地 新明 榮信
東常世 齋藤 修 | 吹萩 後藤 兵太
川井 小泉 隆
一ノ木 山ノ内次郎
会津若松市 佐藤健一郎
川隅 川原田忠儀
三ツ山 神田 康男
最明寺 国分 晋二 |

九州北部豪雨災害への支援活動

このたび、九州北部で発生した豪雨災害は、福岡県・大分県・熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。喜多方市社会福祉協議会では福島県社協の要請により、現地災害ボランティアセンターの支援スタッフとして職員を派遣しました。

第1班として派遣した2名の職員は、7月20日から27日迄の間、大分県竹田市災害ボランティアセンター（設置：竹田市社会福祉協議会）にて支援活動を行ってきました。

竹田市は大分県西部に位置し、人口23,800人、面積477km²の市であり、このたびの災害では死者2名、住宅全半壊100戸、300戸を超える床上・床下浸水があり、市の中心部を流れる2本の河川のうちの1本が氾濫し、山間部から中心部の流域にかけ広範囲に被害が及んでいました。

ボランティアセンターには九州地方を中心に、全国から大勢のボランティアの皆さんが駆けつけ、土砂撤去や屋内の片付け、清掃などの作業に汗を流していました。

この支援活動を通し、ボランティアの皆さんの熱意や、ボランティア活動の重要性、社協という組織の固い絆を肌で体験することができました。

※第2班として7月26日から8月2日まで熊本県阿蘇市に職員1名を派遣しました。



車椅子をいただきました!

～ボランティア協力指定校の活動より～

慶徳小学校では7月13日（金）に喜多方市社会福祉協議会に対する車椅子贈呈式が開催され、児童代表から本協議会の武藤会長へと寄贈されました。

この車椅子は、慶徳小学校のみなさんがボランティア活動の一環としてアルミ缶回収に取組み、その浄財をもとに購入されたものです。

社会福祉協議会に対する車椅子の寄贈は、今回で6台目となり、高齢者や障がい者の方々に対する介護全般に使わせていただいています。本当にありがとうございます。



喜多方市社会福祉協議会ホームページをご覧ください
<http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

「児童館まつり」のご案内



- 日時** 平成24年9月23日（日）午前10時開会
～午後3時まで
- 場所** 厚生会館（駐車場は第一小学校校庭をご利用ください。）
- 内容**
- 遊びのコーナー（無料）〈迷路、ジャンボジェンガ、バルーンパラダイス、ストラックアウト等〉
 - 模擬店コーナー（有料）〈焼きそば、ハンバーガー、フランクフルト、かき氷等〉
- ※他にも子どもたちによる「一輪車ショー」など、内容盛りだくさんでお待ちしております。

問い合わせ 喜多方市中央児童館 TEL.22-1766



※きたかた社協だよりの作成経費の一部として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただいております。